第６回日本大使杯柔道選手権大会

（２０１９年７月１３日　於：ビング・ナショナル・スタジアム）

２０１９年７月１３日，マラウイ柔道協会との共催で第６回日本大使杯柔道選手権大会を開催しました。開催地リロングウェ（首都）に加え，北部，南部，そしてザレカ難民キャンプからの選手を含め４０名が７つの体重別の階級ごとに個人戦を行いました。

柳沢大使はスピーチで，ザレカ難民キャンプ出身の選手の増加を称え，また，JICA 海外協力隊員として柔道を教える工藤氏に対し感謝の意を表しました。そして，最後に自己規律や相互尊重といった精神を持つ柔道は平和のためのスポーツであるとし，２０２０年の東京オリンピック競技大会を目指し柔道を続けるよう述べました。

大会には，ピソ青年・スポーツ・文化大臣の他，オリンピック委員会，国家スポーツ評議会，市議会及び警察等の政府関係者や UNHCR 関係者の来賓も参加し，多くの観客が柔道の精神を学び，試合を楽しみました。



試合の様子１



試合の様子２



ザレカ難民キャンプ及びリロングウェ柔道クラブの子供達によるデモンストレーション



表彰式の様子１（女子カテゴリー）



表彰式の様子２（男子カテゴリー）



表彰式の様子３（子供カテゴリー）



開会式でスピーチを行う柳沢大使



閉会式でスピーチを行う主賓の
ピソ青年・スポーツ・文化大臣



全体集合写真